

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	18 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	初生寺(はじょうじ)境内のツルマンリョウ自生地				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1982年(昭和57)3月12日				
所在地	宇陀市榛原自明741番地				
所有者 管理者	初生寺				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	有り				
公開	初生寺の許可が必要(現在はすべてツルマンリョウは消滅して全く見られない)				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	以前は境内のあちこちにあったが、10年前からツルマンリョウは見られなくなった。説明版はそのまま境内に設置。				
今後の課題	ツルマンリョウは消滅しているのに説明板及び県指定史跡一覧に掲載されたままなので初生寺境内のツルマンリョウ自生地は外すかないと思う。				
その他 (由緒など)	消滅の原因は酸性雨の影響かもしれない。(元住職の話より)				
コメント	初生寺の境内は広く立派であった様子であるが今は雑草が野放し状態。元住職も高齢で寺の運営は息子(住職)に任せている様子。とにかく山深いところであり、檀家も3戸しかなくポツンと一軒屋に登場してもいいぐらいの場所である。ツルマンリョウ自生地としては県指定の文化財に登録されているが、それは過去の話であり現状の状態を明記するべきではないのか。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	9月	18日	記入者	橋詰輝己
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	初生寺(はじょうじ)境内のツルマンリョウ自生地
------	-------------------------

初生寺のツルマンリョウ自生地説明板	初生寺境内
-------------------	-------



初生寺境内の様子



以前は境内の敷地に自生していた場所



境内の山林に自生していた場所



現在は全く見られない状態

